

平成24年度 第4回教育研究評議会（定例）

日 時 平成24年7月4日（水） 13:30～
場 所 鳳龍会館 会議室

〔審議事項〕

- （1）教育職員の選考について
- （2）教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について
- （3）九州工業大学学寮管理運営規則等の一部改正について

〔報告事項〕

- （1）事務組織の新設について
- （2）平成25年度編入学試験実施結果について
- （3）工学部学生寮の教育・運営の方針について
- （4）計画停電について

〔その他〕

- （1）個別学力試験への英語導入について

平成24年度 第4回教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 平成24年7月4日（水）13:30～15:20
2. 場 所 鳳龍会館 会議室
3. 出席者 学長，理事（評価・総務・財務担当），理事（教育・情報担当），
理事（経営戦略担当），
副学長（学生担当），副学長（国際担当），副学長（入試担当），
副学長（事務統括・労務担当）
工学研究院長，情報工学研究院長，
副工学研究院長（副工学府長），副工学研究院長（副工学部長），
副情報工学研究院長（副情報工学府長），副情報工学研究院長（副情報工学
部長），副生命体工学研究科長，
白井教授
4. 列席者 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当），
学長特別補佐（広報担当），学長特別補佐（評価担当）

5. 議事要旨確認

平成24年度第3回教育研究評議会（平成24年6月6日）の議事要旨（案）について確認が行われ，了承された。

6. 審議事項

(1) 教育職員の選考について

学長及び理事（教育・情報担当）より，次の教育職員の選考について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承され，役員会に付議することとした。

- 工学研究院 基礎科学研究系 数理科学部門 准教授 1名（任期なし）
- 学習教育センター 准教授 1名（任期：平成28年3月迄）
- 若手研究者フロンティア研究アカデミー 准教授 4名（任期：5年）

①候補者4名

- 電気・電子分野 1名
- 物質・材料分野 1名
- 学際・融合領域分野 1名
- 情報（生命情報を含む）分野 1名

②次点者4名

- 優先1 学術・融合領域分野 1名
- 優先2 電気・電子分野 1名
- 優先3 物質・材料分野 1名
- 優先4 機械分野 1名

なお，今後は候補者と面談をしながら，本人の希望も踏まえてメンター教員及びキ

キャンパスを決定したいので、研究室の確保等について各部局のご協力をお願いしたい旨、学長より説明があった。

(2) 教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について

学長より、本日の役員会で設置が決定された教育職員選考委員会のうち、教育研究評議会の指名する委員の選出について説明があり、審議の結果、了承された。

- 工学研究院 物質工学研究系 材料開発部門 教授 1名 (任期なし)
- 工学研究院 電気電子工学研究系 電気エネルギー部門
助教 1名 (任期なし)
- 工学部 寄附講座 (九州電力株式会社) 電力系統制御工学講座
客員教授 1名 及び 客員准教授 1名
(任期：平成24年10月～平成27年3月)

(3) 九州工業大学学寮管理運営規則等の一部改正について

副学長 (学生担当) より、学寮管理運営規則等について、ショートステイ事業等により来学する外国人学生が学寮に入寮できるよう一部改正する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとした。

制定日：平成24年7月4日 (本会議の日)

施行日：平成24年7月4日 (役員会終了後)

7. 報告事項

(1) 事務組織の新設について

学務部長より資料に基づき、7月1日付けで学務部学務課にキャリア教育・就職支援係を新設した旨の報告があった。

(2) 平成25年度編入学試験実施結果について

入試課長より資料に基づき、選考結果について報告があった。

なお、情報工学部では合格者数が募集人員に達していないが、今後はマレーシア・ツイニング・プログラムの受験者を加味して募集人員に達する予定である旨の説明があった。

(3) 工学部学生寮の教育・運営の方針について

工学研究院長より資料に基づき、学生寮の教育・運営の方針について報告があった。なお、次のとおり工学部学生寮について意見があった。

・規則では、飯塚キャンパスのみに学寮があることになっているため、工学部学寮についても事務的に規則を整備していただきたい。

・飯塚キャンパスのステューデント・レジデンスとの整合性もあるので、寮費は飯

塚と同じような金額に設定する必要がある。

・後期日程合格者については、審査するまでの時間が限られているので、審査方法に関しては入試課と連携のうえ検討してほしい。また、広報が遅れると入居者数に影響が出るので、広報についても入試課との連携が必要である。

・本年度予算の残額の見通しによっては、大学全体の寮の体制について可能な限り予算を充てていきたい。

(4) 計画停電について

会計課長より資料に基づき、計画停電について報告があった。

なお、キャンパス毎に停電時間が異なっており、緊急時にはメール連絡等の周知ができない場合があるため、緊急時の各種対応について、事務側で取り纏めのうえ、後日報告する旨、副学長（事務統括・労務担当）より説明があった。

また、各部局の長及び事務担当者については、部局毎で早急に対応ができるよう、九州電力㈱の節電メールに登録するよう、学長より依頼があった。

8. その他

(1) 個別学力試験への英語導入について

原則として平成27年度から英語試験を導入することについて、8月か9月の教育研究評議会で審議する予定である旨、学長より説明があった。

(2) 教育研究評議会の次回開催日について

平成24年8月1日（水）に鳳龍会館会議室で開催する予定。

なお、8月は緊急の案件のみ審議し、午前中に行う旨、学長より説明があった。また、9月も午前中に実施する予定であり、事前調査して決定する旨の説明があった。

(3) 給与改定について

6月1日から実施した給与改定について、然るべき責任者より説明がほしかった旨の報告があり、国の方針が見えない現段階では曖昧なことは言えないため、方針が明確になった時点で説明会を行う予定である旨、学長から発言があった。